

## 施策評価調書(26年度実績)

施策コード Ⅱ-2-(3)

政策体系	施策名	医療機器関連産業や次代を担う産業の育成	所管部局名	商工労働部	長期総合計画頁	91
	政策名	活力を創造する商工業等の振興	関係部局名	商工労働部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	医療機器関連産業の拠点づくり	次世代電磁力応用機器開発拠点の構築	環境産業への参入と環境活動の促進	ベンチャー企業の育成

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		26年度			27年度	目標達成度(%)						
		年度	基準値	目標値	実績	達成度	目標値	25	50	75	100	125		
i 医療機器生産額(百万円/年)	①	H17	103,642	134,000	96,142	71.7%	139,000							
ii ISO14001・エコアクション21合計登録件数(件)	③	H16	100	210	203	96.7%	220							

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等										平均評価
i 著しく不十分	医療機器関連産業への参入を促進した結果、医療機器製造業登録数が増加し、地場企業で新たに医療機器を開発、販売する企業が出てくるなど成果が現れ始めているものの、地場企業の医療機器生産額が県内生産額全体を底上げするに至っていない。加えて、国外後発メーカーの参入等先進諸国での競争激化や国内献血者数の減少等国内外の市場変化により進出企業群の生産量が減少したため、目標を達成できなかった。										達成不十分
ii 概ね達成	環境に対する社会の関心の高まりを受け、企業における環境マネジメントシステムの認証取得に対する意欲が向上している。県でもセミナー開催や専門家によるコンサルティングを開催するなど、環境マネジメントシステムの認証取得に対する支援を行ったことにより、特に、中小企業でも取り組みやすいエコアクション21の登録が増加するなど、目標値を概ね達成した。										

#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・医療機器産業への参入が進み、新たに医療機器製造業に2製造所が登録したほか、新製品の上市に至った企業が出るなど、新たな医療機器開発も促進された。 ・タイの国立病院を中心に日本式透析システム、日本製透析用機器の優位性が浸透し、県内で生産される医療機器の販路開拓に向けた動きが進展した。
②	・電磁力技術を活用した測定装置の販売等により、地場企業の売上げにつながった。また、国等の外部資金の活用により、地場企業の新製品開発も進んだ。
③	・循環型環境産業創出事業により、県内産業廃棄物の減量化や再生利用に係る事業化を支援し、汚泥等の減量化や製鉄粉等のリサイクルの推進が図られた(4件)。
④	・平成26年度のビジネスプラングランプリの応募件数は49社で、前年度比10件増となり、ベンチャーマインドの醸成と受賞企業のモチベーション向上に寄与した。 ・24年度～26年度に1,000件の創業を実現するという目標を達成した。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(26年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	27年度の方向性	
①	東九州地域医療産業拠点推進事業	31,203	C	終了	97
	医療関連産業参入促進事業	22,341	A	終了	98
	ロボット関連産業参入支援事業	14,479	A	継続・見直し	99
②	電磁力応用技術活用推進事業	20,940	A	継続・見直し	100
③	循環型環境産業創出事業	44,593	A	継続・見直し	96
④	おおいた創業促進事業	9,120	B	終了	95

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」第2回総合調整部会(H26.12)  
・創業希望者等の若者をトレーニングする仕組みが必要。

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分大学医学部が開設した臨床医工学センターの運営を支援することにより、県内企業の医療機器研究開発を推進する。</li> <li>・タイをはじめとしてASEAN諸国に日本式医療システムの優位性をPRし、大分県で生産される医療機器の販路拡大を図る。</li> <li>・九州ヘルスケア産業推進協議会と連携してセミナーやマッチング会など九州一体となった事業実施を図る。</li> <li>・県内企業が行うマーケット起点的医療機器研究開発から販路開拓までをハンズオンで支援する。</li> <li>・ロボット関連産業について、多様な関連企業や病院等の関係機関と連携し、県内での更なる参入機運を醸成するとともに、HALFITツーリズムの国内外への周知を促進する。</li> <li>・新規性や成長性が高く、事業初期段階にあるビジネスプランのグランプリへの一層の応募促進を図る。また、受賞企業に経営支援等のフォローアップを強化する。</li> <li>・創業実現を支援する関係機関の着実な取組成果を踏まえつつ、成長支援や地域支援を集中的に実施する「おおいたスタートアップ支援事業」を新設する。</li> <li>・産業廃棄物を地域資源として活用する循環型環境産業を育成するため、産業廃棄物の再生利用や減量化等にかかる事業化の支援を行う。</li> </ul>